

公園内で見られる植物他

写真は9月19日(土)
自然観察会で見られた
植物などです



何のキノコ？

今年はキノコが豊作だと言われ、種類も量も多いようですが、キノコ狩りに行って食材となるキノコはほんの一部であることから、採る楽しみだけにするをお勧めします。

よく知っているキノコだけにして、くれぐれも素人判断で食べないようにしましょう！！



ヌメリイグチ (イグチ科)

マツ林の地上に群生します。松とお互いに助け合って（共生：菌根）生存しているらしい。その名の通り、湿気が多い場合は傘の表面全体が強い粘液に覆われています。多く食べると稀に軽い消化器系の中毒症状が出ることがあるので注意が必要です。一度、茹でこぼしてから調理します。



ホコリタケ (ホコリタケ科)

様々な種類の木の林の地上に群生します。頭部は丸く（球形）で、表面には刺のような突起物があり先端は黒っぽい色になります。肉はきれいな白色でマッシュマロのようです。この時には食べられますが、成熟すると頭部の中央に穴が開いて孢子がホコリの様に飛び散ります。



ハゼノキ (ウルシ科)

ヤマウルシや、ヤマハゼのようにカブレる木として注意が必要ですが、果実からは和ロウソクを作る木ロウを取るために古くから栽培されました。江戸時代松江藩立て直しの資金源として奨励されました。紅葉がとても美しいです。



ヤマジノホトトギス (ユリ科)

名前の由来は、花びらにある斑点をホトトギスの胸にある模様に見立てたもの。ホトトギスによく似ていますが雄しべと雌しべが合わさった柱のようになった部分には斑点がないのが特徴です。



ツルリンドウ (リンドウ科)

ツル性多年草。花は紅紫色を帯びていてかわいらしいですが、あまり目立ちません。実は赤くよく目立ちます。



フユイチゴ (バラ科)

ツル性でトゲのあるものと無いものがあります。枝先に白い花が集まって咲きます。11月～1月頃小さい実が集合して1つの実を形成し、赤く熟します。甘酸っぱい味がします。